

今、全国で注目されるパパさんシンガー



「home」で伝える
家族への愛
木山裕策



リリー・フランキー氏によるイラストのCDジャケット

「home」という歌でたまたまレイク中。今年2月、39歳でCDデビューした会社員。中学1年から1歳まで4人の男の子のパパ。平日は出版関係の会社勤め、週末の1日を歌手として国内各地でライブ活動、あとの1日はパパとして子どもたちと遊ぶ。こんな密度の濃い多忙な1週間を木山裕策さん（39歳）はこの数ヶ月過ごしている。

デビューのキッカケにはあるドラマがあった。もともと音楽が好きで、大学時代にはバンドを組みボーカルを担当していた。プロへの夢があったものの、現実を考え断念して就職。そして結婚、3人の男の子に恵まれた。しかし37歳の時、木山さんの言う「自分の人生で思いもしなかった」ことが起きる。人間ドックで甲状腺に腫瘍が見つかり、左側の甲状腺を全摘出。医師からは「手術後、声が出なくなる危険性がある」ことを告げられた。

「もし声が出るのであれば、もう一度歌へ挑戦しよう。そして子どもたちに自分の声をCDにして聞かせたい」と決意。幸い日々の訓練の結果、半年後には歌える状態に回復した。

「もし声が出るのであれば、もう一度歌へ挑戦しよう。そして子どもたちに自分の声をCDにして聞かせたい」と決意。幸い日々の訓練の結果、半年後には歌える状態に回復した。

（東久留米市在住）

その後4男が誕生。この頃木山さんの胸中には2人の自分が葛藤していた。「家族の生活を背負いながら、そんなことに挑戦していいのか?」「病気を克服したからこそ夢を実現させたい」、そして「自分のやりたいことがちゃんと出来ていないから迷う自分」に気づく。

日本テレビのハイレベルなオーディション番組「歌スタ!!」にエントリーした。ここでもドラマが生まれる。同番組のうたい人ハンターの多胡邦夫さんとの出会いだ。浜崎あゆみなどの楽曲を手がけ、自身も1児の父である多胡さんが、家族への愛を歌う「home」という曲を木山さんのために生み出した。が、最終審査で落選。しかしどうしてもこの歌を世に出したい多胡さんと木山さんの歌への思い、家族一丸の応援が合わさって、フルコーラスに完成させて異例の再挑戦。そして見事、メジャーデビューを決める。この放映後に開始された携帯電話への着うた配信は2万件を超え、日テレ最高記録を更新するほどの反響の大きさだった。

3月15日、東久留米市男女平等推進センター主催のトーク&デビューライブ会場で「…手を繋いで帰ろうか世界にひとつだけ my sweet home 何時も何時の日もありがと」と伸びやかに歌いあげた「home」。子どもへの愛情から自分の親への感謝へと広がる。聴く者は自分の家族と重ねあわせ、心震わせる。CDを繰り返し聴くうち、木山さんにしか歌えない曲に思える。

テレビ出演、全国各地でのキャンペーンでも会場に溢れる人々。遅咲きの大型新人歌手、木山裕策人気は小学生からお年寄りにまで広がっている。

「若い頃なら舞い上がっていたでしょうが、この年齢になると冷静に見ていられます。「home」は流行りすたりの歌ではなく、歌い継いでゆく、大切な歌だと思っています。派手な活動はせず、今後も会社員を続けバランスをとりながらやっていきたい」と関西なまり（木山さんは大阪府出身）がやわらかだ。

「home」を家族中で合唱する木山ファミリー。「夢をあきらめずにいれば、大人になって良いことがあるよ」とパパの背中が教えてくれた。庭をタヌキが横切る、そんな自然が残る東久留米が好き。週末、公園で子どもたちと遊ぶのが何よりの楽しみ。これからの活躍を地元として多に応援したいものです。